アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工業者様用

施工説明書

裏面にお施主様用の「使用上のご注意」が記載してありますので、必ずお施主様にお渡しください。

ダイケン　WPC床暖房用フロアー トークファインGH11
床暖房用フロアー ホットナーファインGH11

この度は弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。施工の際には本説明書をよく読み、手順通りに正しく施工してください

必ずお守りいただきたいこと

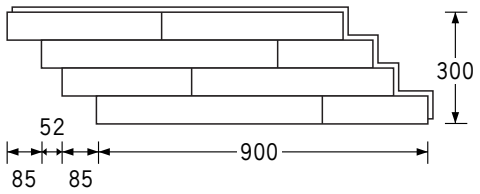
⚠注意　本製品は一般内装用（上履き用）のモルタル埋設床暖房対応床材です。重歩行用（土足用）には使用できません。

梱包内容

(1) 製品サイズ： 10.5×300×900㎜

(2) 梱包入り数： 12枚／梱（3.24㎡）

(3) 製品パターン図：



施工方法

(1) 下地工事

- スラブ面の不陸が2ｍ当たり3㎜以下になるようにしてください。不陸がある場合は、事前にならしモルタル等で十分に調整を行ってください。また施工前にスラブにほこり、突起物、ひび割れ等がないことを確認してください。接着不良、床鳴りの原因となります。
- スラブの含水率は１０％以下としてください。接着不良の原因となります。目安はコンクリート打設後１カ月です。

(2) 仮並べ

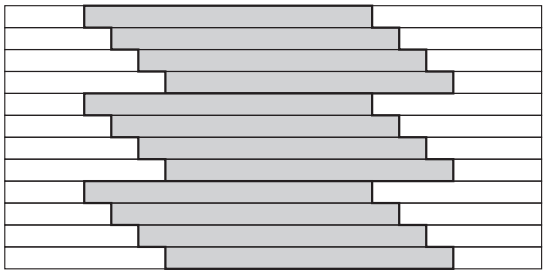
- 天然木ですので、色柄に多少の差があります。施工前に必ず仮並べをし、色柄のバランスをとってください。割り付けを行うときは、縦のジョイントを同列に並べる流し張りを基本とします。
- 湿度の高い現場の場合、施工後にフロアが湿気を吸収して、伸びや突き上げを起こすことがありますので、施工前日に床材を開梱して現場の環境になじませてください。

(3) 施　工

- 使用前に必ず接着剤のラベルの説明書をお読みください。
- 接着剤はダイケン直床ボンドエポキシ（２液性エポキシ樹脂接着剤）を使用してください。
  接着剤は有機溶剤を含みますので、換気を十分に行って作業をしてください。
- 作業場所の温度が０℃以下の場合、接着剤の硬化が悪くなりますので、作業を行わないでください。
- １㎡当たり８００ｇを目安に、くしべらで下地に塗布してください。

●接着剤塗布後約15分放置し、1列目の床材を張り終えたら、足踏み等により圧締します。
●流し張りを基本とします。

〈流し張り〉



●フロアーを寄せる場合は、必ずゴムハンマーを使用してください。かたいハンマー・当て木等を使用しますと、フロアーを痛めることがあります。
●床材表面に接着剤がついたときは、すぐにシンナーで拭き取ってください。固まりますと取りにくくなります。
●床材が下地から浮き上がった部分は必ず重しを載せ、翌朝まで載荷してください。接着不良、床鳴りの原因となります。
●軽歩行は24時間(20℃)で可能ですが､床暖房の運転は48時間(20℃)以上経過してから行ってください。但し、接着剤が完全に硬化し接着強度が出るまでには5日(20℃)以上かかります。

養生方法

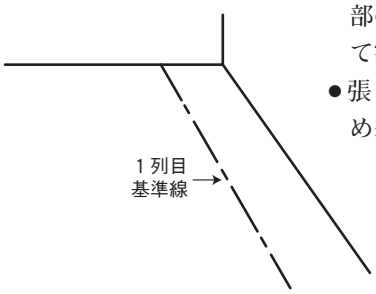
●施工後は、必ず弊社の養生マットと養生テープを使用してフロアー表面を保護してください。布製ガムテープや広巾クラフトテープ等は粘着力が強く、フロアー表面を損傷する恐れがありますので、使用しないでください。
●養生テープを剥がすときは、ゆっくりと剥がしてください。急激に剥がすとフロアー表面を損傷する恐れがあります。

トークファインGH11・ホットナーファインGH11・施工手順

1 施工前に準備する物

床　材	ダイケンWPC床暖房用フロアー・トークファインGH11 床暖房用フロアー・ホットナーファインGH11
接着剤	ダイケン直床ボンドエポキシ
工具類	鋸、カンナ、ノミ、スケール、ゴムハンマー

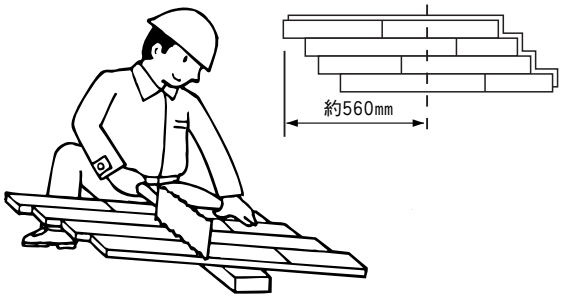
2 割り付け・墨出し



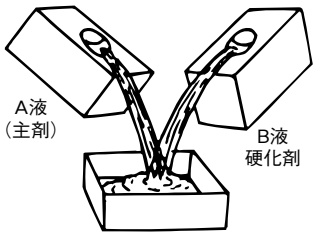
- 全体のバランス、隅部の納まりを考慮して割り付けます。
- 張り始める位置を決め基準線を打ちます。

3 材料カット

- 1列1枚目をカットします。
  （カットした残りは1列目の張りおさめに使用してください）
- 流し張りの時のカット位置。



4 接着剤準備

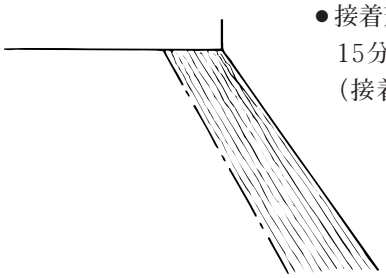


- 接着剤
  主剤と硬化剤を1対1の割合でまぜ合わせ、よく撹拌します。
  接着剤は指定のダイケン直床ボンドエポキシをお使いください。

5 接着剤塗布

- 接着剤をくしべらを用いて1列目の下地に塗布します。
- 塗布料は800g／㎡が目安です。

6 放置

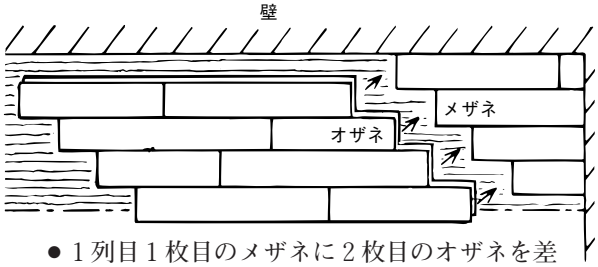


- 接着剤塗布後
  15分程度放置します。
  （接着力を高める為）

7 一列目のフロアー張り

- 床材は長さ方向に1列ごと張っていきます。
- 基準線に沿って1列目1枚目のフロアーを張ります。
- 張り方の基本としては、メザネ側を手前にして、壁に向って右隅側より張っていきます。

8 一列目二枚目の施工



- 1列目1枚目のメザネに2枚目のオザネを差し込むように施工します。
- 差し込みにくい時はゴムハンマーを使い施工します。

9 圧締

- 1列目が張り上がったところで足踏み等により圧締してください。そのとき床材がずれないように注意してください。

10 二列目以降の施工

- 以降1列ごとに接着剤を塗布し、くり返し施工してください。

11 養生

- 施工後養生をとってください。
- 床材表面に接着剤、汚れが付着した場合、すぐにシンナーでふきとってください。
  （硬化後はとれにくくなります。）
- 床暖房の運転は、施工完了後48時間以上経過してから行ってください。
  接着剤が未硬化の場合、接着不良となりますのでご注意ください。

使用上のご注意

床暖房

- 床暖房とコタツ、電気カーペットを併用することはお避けください。又、座布団などの保温性の良いものを長時間同じ場所に置かないでください。カーペットは毛足８㎜以下のもをお使いください。異常加熱により、フロアーの継ぎ目部にすき間や、表面にひび割れをおこすことがあります。
- 床暖房の使用にあたっては、床暖房装置の取扱説明書をよく読み、注意事項等を守って使用してください。

凹み・傷

- 本製品は上履き用です。土足では使用しないでください。
- 重量物（ピアノ等）を置く場合は、敷板等を脚部の下に敷き、重量を分散させてください。フロアー表面を傷つける恐れがあります。
- キャスター付きの椅子や家具は、フロアー表面を損傷する恐れがあります。使用される場合は、カーペットを部分敷きするなどして保護してください。
- テーブルや椅子を引きずりますと、フロアー表面を損傷する恐れがあります。足先にフェルトやゴムキャップ等をつけてフロアー表面を保護してください。(ゴムキャップは種類によりフロアー表面を汚染するものがありますのでご注意ください。)

汚れ・水濡れ

- フロアーを長時間水に濡らしたまま放置しますと、変色・シミ・ひび割れ等の原因となりますので速やかに拭き取ってください。
- 日常のお手入れは乾拭きとし、水拭きはしないでください。汚れがひどい時には、雑巾を水に濡らし固く絞ってから拭き取ってください。
- クレヨン・マジック・油等でフロアーを汚した場合は、シミにならないうちに家庭用ベンジン等で拭き取ってください。ワックス掛けしている場合は、ワックスもとれますので、再びワックス掛けを行ってください。

ワックス掛け

- 長期間に渡って美観を保つ為には定期的にワックス掛けすることが効果的です。3ヶ月に1度が目安です。
- ワックスは､市販の水性樹脂ワックス木質床材用をご使用ください｡事前にワックスの使用方法を、熟読の上、目立たない場所で試し塗り、確認して使用してください。
- 床暖房使用中はワックス掛けしないでください。塗りムラの原因となります。
- ワックス塗布後は、換気を良くして、十分に乾燥させてください。

大建工業株式会社
〒530-8210　大阪市北区堂島１丁目
6番20号（堂島アバンザ）
ＴＥＬ(０６)６４５２-６０００(代表)

〔ご相談窓口〕
●名古屋工場　TEL(052)361-1133
●内装材事業部 営業推進室(大阪) TEL(06)6452-6121
●内装材事業部 営業推進室(東京) TEL(03)3249-4876

2004.5